

## DP ディプロマ・ポリシー

経済グローバル・ディプロマプログラム修了者には「グローバル経済ディプロマ」を授与する。

同プログラムのディプロマ・ポリシーは、経済学部を構成する経済・経営学科（以下EBと表記）と経済工学科（以下EEと表記）が目指す専門性を基盤に、そうした専門性のグローバルな運用能力を高める点に重点が置かれている。

### A 知識・理解

- ・経済学部の二つの学科がめざす事柄について、日本語のみならず英語等の他の言語で理解し表現することができる。
  - 理論的・構造的視点から、今日の経済社会の動きについて説明できる(EB)。
  - 歴史的・実証的視点から、産業の消長について説明できる(EB)。
  - 経営学や会計学の視点から、企業活動の実態とあるべき姿等について説明できる(EB)。
  - 数理・数量的手法を用いて、複雑で多様な経済諸問題を科学的に理解し説明することができる(EE)。
  - 現実の経済システム、経済動向を把握・評価し、多方面からの政策分析を行うことができる(EE)。
  - 経済・経営問題に関して数理・情報解析の手法を活用することができる(EE)。

### B 技能

#### B-1 専門的能力

- ・グローバルなレベルで生起する諸問題を、経済学・経営学・経済工学の諸ツールを用いて把握し、解決策について考察することができる。
- ・学科毎に定める以下の専門的能力を、日本語のみならず英語等の他の諸言語で駆使できる。
  - 現代経済社会が抱える問題を理論的・構造的視点から把握することができる(EB)。
  - 現代経済社会の問題を分析し、問題解決の企画に取り組むことができる(EB)。
  - 産業の消長を歴史的・実証的に分析することができる(EB)。
  - 産業の将来動向を予測し、望ましい経済社会のための産業政策の企画に取り組むことができる(EB)。
  - 健全な企業活動が営まれるための知識を修得し、それを阻害する問題がある場合には、経営学的・会計学的能力を駆使して、これに対処できる(EB)。
  - 数量面を中心に実証的な方法を用いて現実の経済の動きを照合することができる(EE)。
  - 情報技術の活用や工学的な手法の導入といった幅広いアプローチを活用して、経済諸問題を把握・分析することができる(EE)。
  - 政策的課題の解決に向けた創造的な思考法を基礎にして、現実経済への働きかけ

としての政策が持つ意味を多面的に検討することができる(EE)。

## B-2 汎用的能力

- ・グローバル社会が直面する諸問題を、知り、共に考え、共に解決しようとするマインドをもつ。
- ・学科毎に定める以下の汎用的能力を、日本語のみならず英語等の他の諸言語で駆使できる。
  - ― 経済・経営学の基礎理論と幅広い教養、豊かな現実感覚と国際性を身につける(EB)。
  - ― 複雑化し多様化する現代経済社会が直面する諸問題に的確に対処し、その解決策を見出す能力を養う(EB)。
  - ― 現代経済社会が抱える問題を歴史的・構造的視点から分析する能力、および、問題を発見し解決する能力を養う(EB)。
  - ― 地域に根付く企業活動の国際的展開に対応しうる企画・創造力を養う(EB)。
  - ― 経済・経営分析のための数理・数量的手法の基礎と統計的・数学的基礎に関する知識、生きた経済に対する豊かな現実感覚と国際的視野を身につける(EE)。
  - ― 複雑化し多様化する現代の経済社会に対する現実感覚に基づいて、解決すべき政策的課題を発見する能力と政策分析に向けた新たな構想力を獲得する(EE)。
  - ― 大量の情報を管理し処理するための数学的な基礎知識と、コンピュータの基礎と応用の能力を身につける(EE)。

## C 態度・志向性

- ・旺盛なチャレンジ精神をもって、グローバル社会が直面する諸問題に立ち向かおうとする心構えを持つ。
- ・世界的な視野と自立的な学習及び実践力を有し、幅広い教養と高い専門性を備える。
- ・アクティブ・ラーナーとして学科毎に定める以下の自立的な学習と実践の能力を持つ。
  - ― 国際的に活躍するとともに、自身が属するさまざまなコミュニティの発展に貢献できるポテンシャルを持つ(EB)。
  - ― 理系と文系といった既成の枠にとらわれない幅広い分野において、国際的に活躍するとともに、自身が属するさまざまなコミュニティの発展に貢献できるポテンシャルを持つ(EE)。